

京大木津農場で最先端の農業技術に触れる！

データでつながるサステナブル農業体験会

オートコンバイン



遠隔操縦



データ駆動型

電動農機



脱炭素関連技術



自然給水栽培



微生物防除



機械稼働システム

日時 2026年10月15日（木）
14:00-16:30

場所 京都大学大学院農学研究科
附属木津農場
(京都府木津川市城山台4丁目2-1)

定員 70名（無料バスは先着40名）

※吉田キャンパス～木津農場を往復する無料バス
を運行します。
詳細は申し込みフォームをご覧ください。

対象 京都大学学生もしくは教職員

内容 トラクター遠隔操縦、電動農機操舵
オートコンバイン操縦、
機械稼働システム、自然給水栽培
微生物防除、バイオ炭（脱炭素）等

参加申込・バスの予約はこちらから



<https://business.form-mailer.jp/fms/c5222838366507>

本イベント「データでつながるサステナブル農業」では、
産学共同講座「ヤンマーデータ駆動型サステナブル農業講座」
による木津農場でのレクチャーと最新農機の操作・操縦体験
を実施します。

土や泥、起伏に富んだ農地を走る農機は、まさに「究極の
オフロード車両」と言えます。京都大学木津農場のフィール
ドを走るヤンマーのトラクターやコンバインには、そのよう
な過酷な環境を走破するハードウェア技術と、最先端のデジ
タル技術が詰まっています。無人トラクターを正確に動かす
遠隔操縦技術、オートコンバインによる自動収穫技術、複数
のデータを連携させる機械稼働管理システム。フィールドで
農機に直接触れながら、内部でどのようなデータが収集さ
れ、高度な機械制御が行われているのか、ぜひ想像を膨らま
せてみてください。

一方で、テクノロジーがどれほど進化しても、農業の基盤
となるのは豊かな地球環境です。自然を資源として活用し、
人の生命を支える「食」に関わる産業だからこそ、環境負荷
の低減が不可欠です。バイオ炭の活用や、微生物・菌による
病気予防といった活動を通じて、人と自然が共生するサス
テナブルな農業と社会の実現を目指しています。

データ活用や機械制御に興味のある情報・工学分野の方は
もちろん、農学を起点に領域横断的な研究に関心のある方、
食と農業の未来を考えたい方など、分野を問わず学生・研究
者のみなさまのご参加をお待ちしています。ぜひお気軽にお
越しください。